SANGETSU Sanwinc サンウィンク

ロールスクリーン

T型メカ　プルコード式/チェーン式

取扱説明書No.R－150004　初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明･注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

■ 安全上のご注意 ・・・

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。
⚠ 注意	製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害･損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⊘	製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。
❗	製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

⚠ 警告

- ⊘ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

⚠ 注意

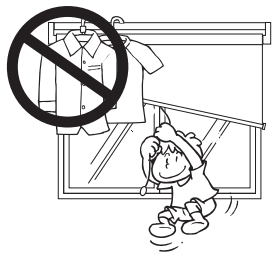
- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- ⊘ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。
- ⊘ セットバーをつかんで製品を持つのはおやめください。故障の原因となります。

■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

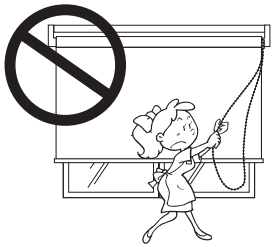
⚠ 警告

- ⊘ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っ掛かるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- ❗ 操作しない時は、お子様の手が届かない位置でコードやチェーンを束ねて、コードクリップで留めてください。

- ⊘ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

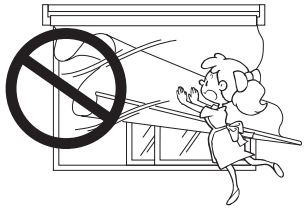


- ⊘ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



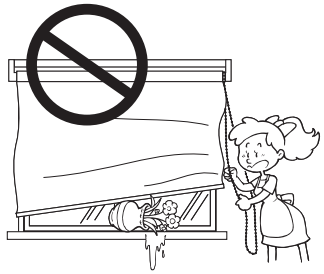
⚠ 注意

- ⊘ 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを巻上げた状態にしてください。



- ⊘ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

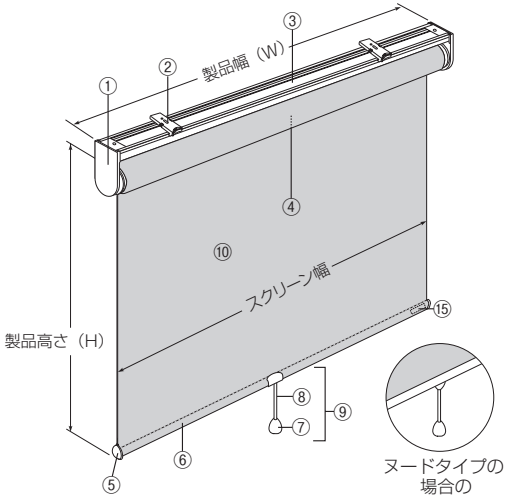
- ⊘ 必ずプルコード、またはボールチェーンを持って操作を行ってください。スクリーンやローラーパイプ、ウエイトバーを持って操作を行わないでください。
- ⊘ 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。
- ❗ 製品は決められた製品高さの範囲でご使用ください。範囲以上でご使用になると、スクリーンの落下、破損の原因になります。



製品全体図及び部品名称

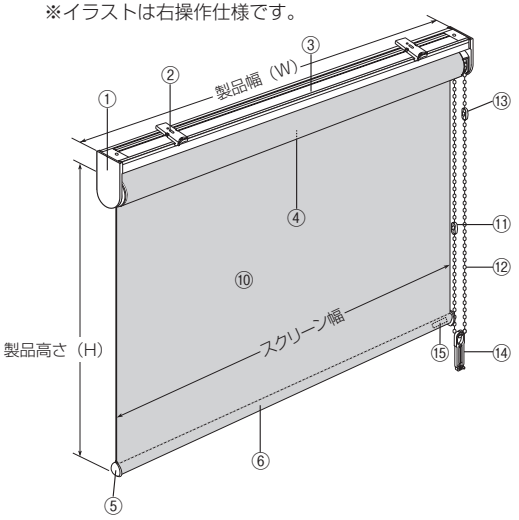
T型メカ プルコード式

※イラストは天井付けの場合です。



T型メカ チェーン式

※イラストは右操作仕様です。

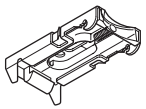
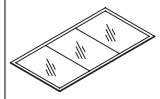
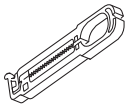


※サイドホルダーセットの大きさは、製品サイズ、スクリーンの仕様によって異なります。
※下限コネクターは逆巻きを防止するための部品です。

部品名

① サイドホルダーセット	④ ローラーパイプ	⑦ プルボール	⑩ スクリーン	⑬ 下限コネクター（※）
② ブラケット	⑤ ウエイトバーキャップ	⑧ プルコード	⑪ チェーンジョイント	⑭ コードクリップ
③ セットバー	⑥ ウエイトバー	⑨ プルボールセット	⑫ ボールチェーン	⑮ メンテナンスシール

■付属部品

部品名 / 製品幅[mm]	ブラケット	ブラケット仮止め用両面テープ	ブラケット取付けネジ	巻きずれ調整シール	コードクリップ
			取付けネジ（ナベφ3.5×20）		
～1400	2 個	2 枚	2 本	1 枚	1 個
1410～2000	3 個	3 枚	3 本		
2010～2700	4 個	4 枚	4 本		

※コードクリップはT型メカチェーン式のみに付属されています。

■オプション部品

プルグリップセット

フラットグリップ

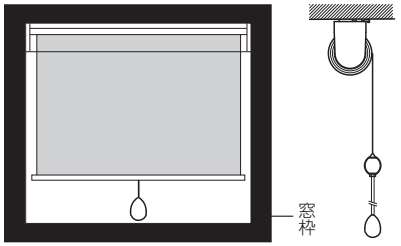
■製品重量

3.4kg（幅2000mm×高さ2000mmの場合）
※製品重量は、スクリーン種類によって多少異なります。

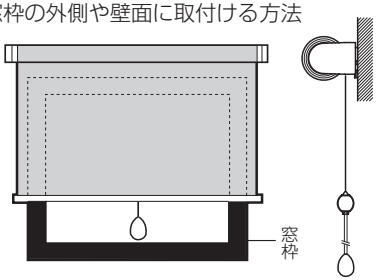
製品の取付け/取外し方法

■取付けの種類

〈天井付けの場合〉
窓枠の内側に取付ける方法



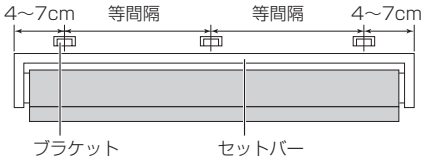
〈正面付けの場合〉
窓枠の外側や壁面に取付ける方法



■ブラケットの取付け位置

※バランス（オプション）を取付ける場合は、先にバランス取扱説明書をご覧ください。
❶ブラケットはセットバーの両端から各4～7cmの位置に取付けてください。
❷ブラケットが3個以上の場合はその間が等間隔になるよう取付けてください。

※付属の仮止め用両面テープを使用するとブラケットの仮止めができます。



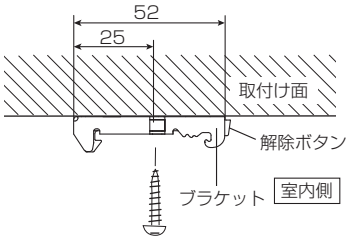
■ブラケットの取付け方法

〈天井付けの場合〉

●解除ボタンが室内側（手前）になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

※ブラケット1個に対し、取付けネジは1本です。右図はブラケットの長穴の中心までの寸法図です。ブラケットには丸穴もありますが取付け状況に応じてご使用ください。

〈天井付けの場合〉

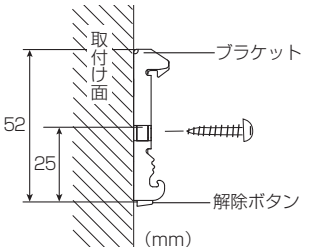


〈正面付けの場合〉

●解除ボタンが下側になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

※ブラケット1個に対し、取付けネジは1本です。右図はブラケットの長穴の中心までの寸法図です。ブラケットには丸穴もありますが取付け状況に応じてご使用ください。

〈正面付けの場合〉



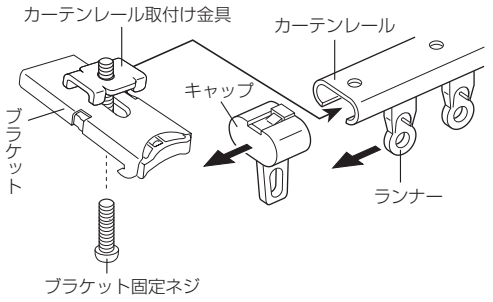
〈カーテンレールへの取付け方法〉

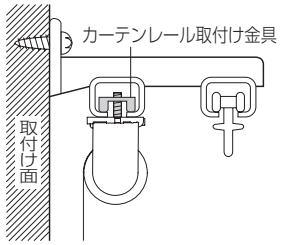
❶カーテンレールからキャップとランナーを抜いてください。

❷カーテンレール取付け金具（オプション）をブラケットの上に置きブラケット固定ネジで仮止めしてください。

❸仮止めしたカーテンレール取付け金具をカーテンレールの溝に入れ、左右のバランスを見てブラケット固定ネジを締めて固定してください。

❹カーテンレールにキャップを取付けてください。





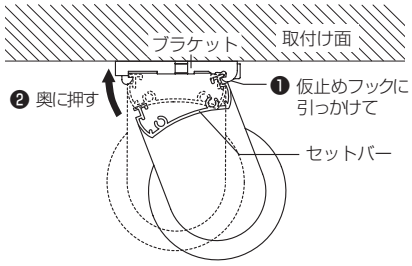
■製品本体の取付け方法

●セットバーの外溝をブラケットの仮止めフック（解除ボタンのある側）に引っかけてください。(❶)本体を奥に『カチッ』と音がするまで押し上げてください（❷）。

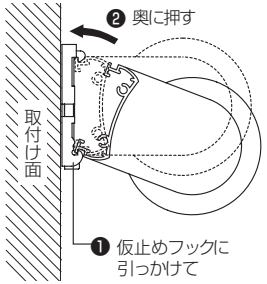
⚠注意

❗本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されていることをご確認ください。

〈天井付けの場合〉



〈正面付けの場合〉



■製品本体の取外し方法

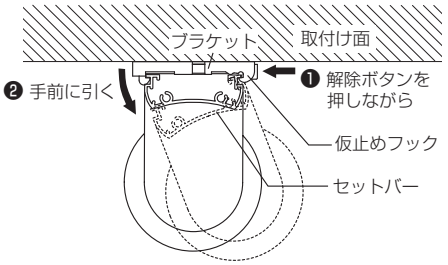
❶スクリーンを巻き上げた状態で本体を持ち、ブラケットの解除ボタンを押しながら（❶）セットバーを手前に引いてください（❷）。

❷本体を仮止めフックから外してください。

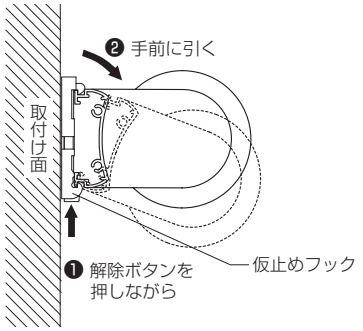
⚠注意

❗ブラケットから製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

〈天井付けの場合〉



〈正面付けの場合〉



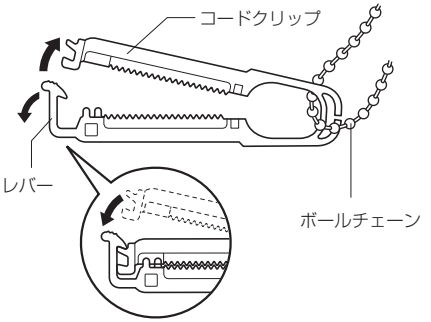
■コードクリップの取付け/使用方法

⚠注意

⃠お子様をボールチェーンで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

●このコードクリップは、お子様がボールチェーンを首や体に巻きつけて、思わぬ事故を招くことを防止するための部品です。

●コードクリップをボールチェーンに取付け、お子様の手が届かない位置でボールチェーンを束ねて、留めてください。



プルセットの取付け・取外し方法/T型メカ プルコード式のみ

※プルセットには、プルボールセット、プルグリップセット（オプション）、フラットグリップ（オプション）、ヌード用プルボールセット（オプション）があります。スクリーンの着脱等でプルセットの取付け・取外しが発生する場合は、それぞれの手順に従って作業を行ってください。

※プルセットの取付け、取外しを行う際はスクリーンを30cmほど引き出して作業を行ってください。

※スクリーンの操作方法についてはP.11「操作方法」をご覧ください。（プルセットの取付け時はウエイトバー中央を持って操作してください。）

〈プルボールセットの場合〉

■取付け方法

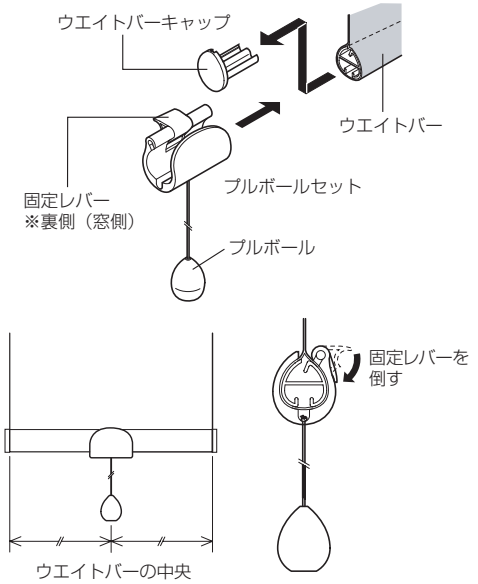
❶ウエイトバーから片側のウエイトバーキャップを外してください。

❷固定レバーが裏側（窓側）になる向きで、プルボールセットをウエイトバーに差し込んでください。

❸ウエイトバーの中央にプルボールセットの位置を合わせ、プルボールセット裏側の固定レバーを倒して固定します。最後にウエイトバーキャップをウエイトバーにはめてください。

■取外し方法

●取付け方法の逆の手順（❸→❷→❶）で取外してください。



〈プルグリップセット（オプション）の場合〉

■取付け方法

❶ウエイトバーから片側のウエイトバーキャップを外してください。

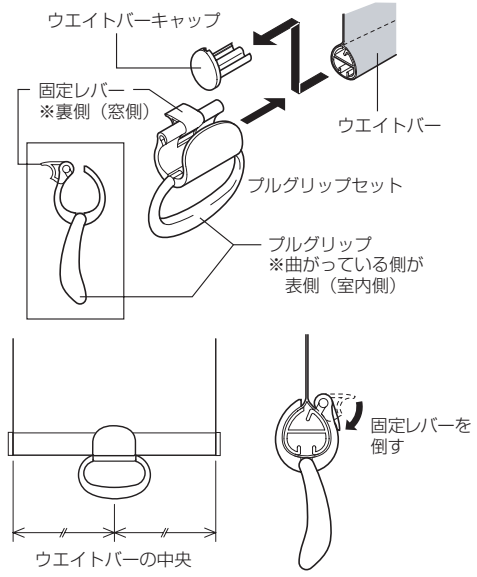
❷固定レバーが裏側（窓側）になる向きで、プルグリップセットをウエイトバーに差し込んでください。

※プルグリップ部が外れている場合は、手前に曲がっている側を表側（室内側）にして組み込んでください。

❸ウエイトバーの中央にプルグリップセットの位置を合わせ、プルグリップセット裏側の固定レバーを倒して固定します。最後にウエイトバーキャップをウエイトバーにはめてください。

■取外し方法

●取付け方法の逆の手順（❸→❷→❶）で取外してください。



〈フラットグリップ（オプション）の場合〉

■取付け方法

❶ウエイトバーから片側のウエイトバーキャップを外してください。

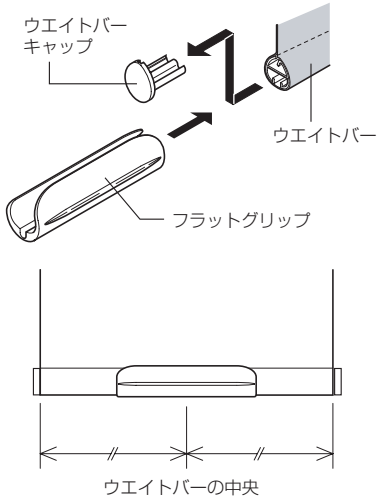
❷フラットグリップをウエイトバーに差し込んでください。

※差し込む際はスクリーンを傷めないようご注意ください。

❸ウエイトバーの中央にフラットグリップの位置を合わせ、最後にウエイトバーキャップをはめてください。

■取外し方法

●取付け方法の逆の手順（❸→❷→❶）で取外してください。



〈ヌード用プルボールセット（オプション）の場合〉

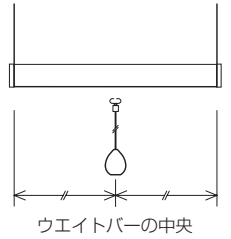
■取付け方法

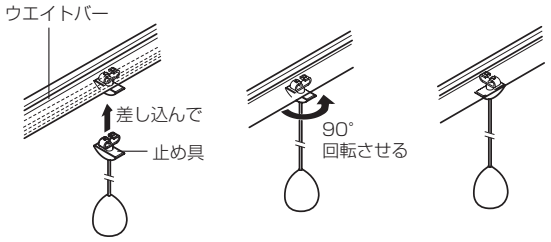
❶ウエイトバーの中央に位置を合わせ、ウエイトバー下の溝に止め具を差し込んでください。

❷止め具を90°回転して固定してください。

■取外し方法

●取付け方法の逆の手順（❷→❶）で取外してください。

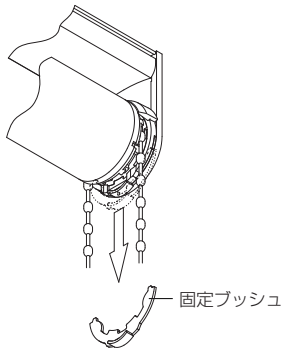




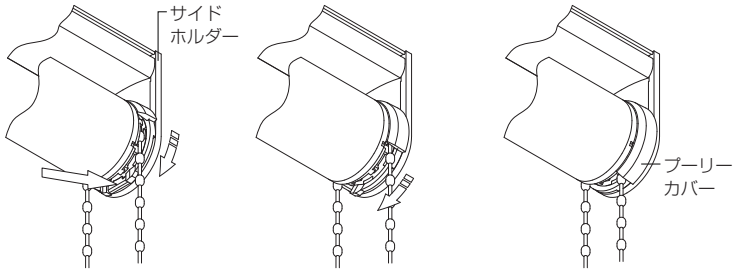
天井付け･正面付け切換え方法/T型メカ チェーン式のみ

※製品ご注文時に、天井付け/正面付けの指定が無い場合は、全て天井付け仕様にて出荷しております。正面付けでご使用の場合は、チェーンカバーを正面付け設定にしてください。

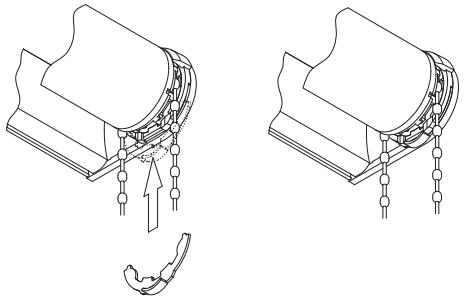
❶プーリーカバー下部にある突起部分を引き、固定ブッシュを抜き取る。



❷プーリーカバー下部をサイドホルダー側に押し付けながら、プーリーカバーを回転させる。



❸固定ブッシュをプーリーカバー下部とサイドホルダーの隙間に差し込み、固定ブッシュを元に戻す。



操作方法

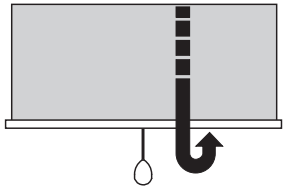
〈T型メカ プルコード式の場合〉

注意

操作はプルボールを手で持って垂直に行ってください。また、プルボールは必ずウエイトバーの中央にセットしてください。プルボールの位置が片寄っていたり、斜め操作は巻きずれを起こし不具合の原因となります。

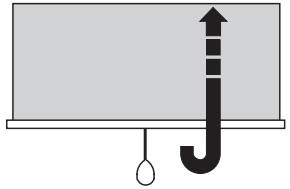
■スクリーンの降ろし方

●プルボールを真下に引き、手を離すと止まります。

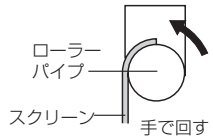


■スクリーンの上げ方

●プルボールを5cm～6cm下に引き、手を離すと上がります。



※スクリーンを強く降ろした時などに、引き切り（オーバーラン）状態になり、スクリーンが巻き上がらなくなることがあります。この場合は、ローラーパイプを直接手で少し回すと直ります。

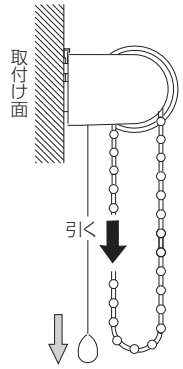


※冬期など室内の温度が低い場合、スクリーンが上がる速度が遅くなることがありますが故障ではございません。

〈T型メカ チェーン式の場合〉

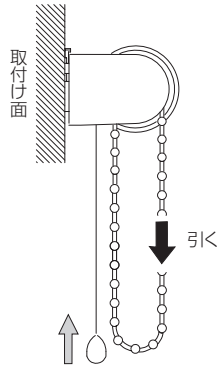
■スクリーンの降ろし方

●奥側のボールチェーンを引いてください。



■スクリーンの上げ方

●手前側のボールチェーンを引いてください。



スプリングの調整方法

⚠ 注意

⃠ スプリングの調整を行う場合は、スピードを確認しながら調整を行ってください。
過度にスプリングを強くしますと破損の原因になります。

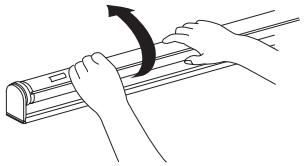
- 本製品は、出荷時にスプリングの調整を完了しておりますが、スクリーンの巻き上げスピードの微調整を行いたい場合やスクリーン着脱時にスプリングの設定（初巻き）を解除してしまった場合に調整を行ってください。
- スプリングの設定（初巻き）が解除してスクリーンが巻き上がらなくなった場合は、サイドホルダー側から調整を行ってください。

※T型メカプルコード式の場合（製品幅600mm以上）スクリーンが完全に巻き上がる前に一旦ブレーキがかかりその後ゆっくり巻き上がる『スローストップ機能』が標準装備されておりますがその動作位置や速度調整は出来ません。

■ ローラーパイプを用いた調整方法/T型メカ プルコード式のみ

※スクリーンの取外しの際にスプリングの設定（初巻き）が解除された場合、以下の❶～❹に従って調整してください。
※スクリーンの取外し方法についてはP.14をご覧ください。

❶矢印の方向にローラーパイプを回してください。
❷反発を感じるまで回し、ローラーパイプをストップさせてください。
❸P.17「スクリーンの取付け方法」の通りにスクリーンを取付けてください。
❹スクリーンを取付けた後、さらにスプリングの調整が必要な場合、サイドホルダー側からスプリングの調整を行ってください。



※ローラーパイプを矢印の方向と逆に回すと部品が破損し故障の原因となります。必ず、矢印の方向に回してください。

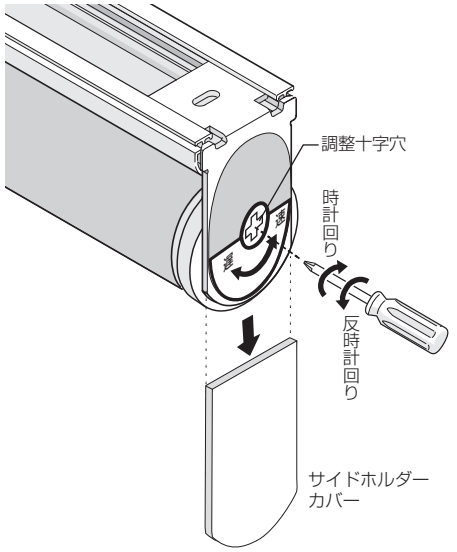
■ サイドホルダー側からの調整方法

〈T型メカ プルコード式の場合〉

●サイドホルダーセットのカバーを下方向にスライドさせて外し、⊕ドライバー#2（製品に付属されておりません）で調整十字穴を回し調整を行ってください。

- 時計回りに回すと巻き上げスピードが**遅く**なります。
- 反時計回りに回すと巻き上げスピードが**速く**なります。

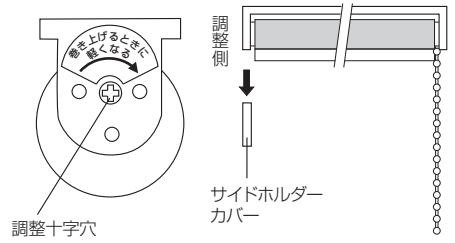
※基本的に製品に向かって右側のサイドホルダーセットがスプリング調整側になります。



〈T型メカ チェーン式の場合〉

※製品幅440mm以下の製品はスプリングセットを内蔵しておりませんので、調整はできません。
※右操作と左操作では、回す方向が逆になりますのでご注意ください。
●操作側（チェーン側）と反対のサイドホルダーセットのカバーを下方向にスライドさせて外し、⊕ドライバー#2（製品に付属されておりません）で調整十字穴を回し調整を行ってください。

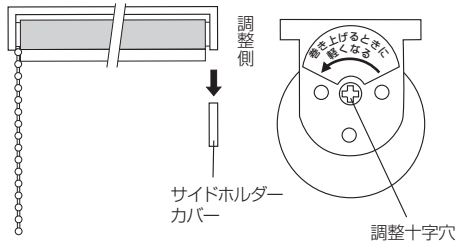
〈右操作の場合〉



- 矢印の方向に回すと巻き上げ操作力が軽くなります。

※引き下げ時の操作力は重くなります。

〈左操作の場合〉



- 矢印の方向に回すと巻き上げ操作力が軽くなります。

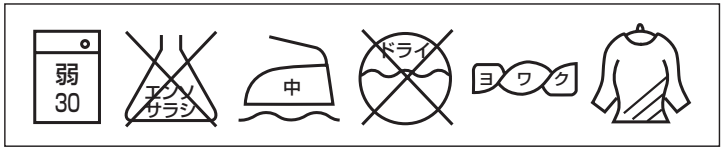
※引き下げ時の操作力は重くなります。

スクリーンの洗濯方法/ウォッシャブル対応スクリーンのみ

⚠ 注意

- ウォッシャブル対応スクリーンには、スクリーン下部に洗濯絵表示ラベルが貼付してあります。必ずこのラベルを確認した後に、洗濯を行ってください。
- ウォッシャブル対応スクリーンでも、ウエイトバー仕様をヌードタイプ（オプション）に変更した場合は、スクリーンを洗濯することができません。

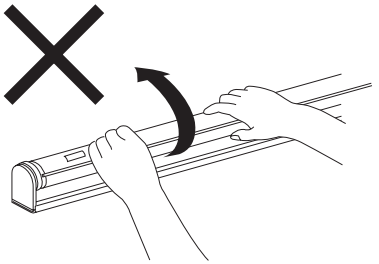
洗濯絵表示ラベル



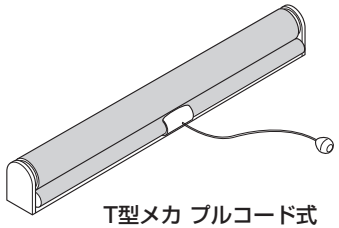
■スクリーンの取外し方法

⚠ 注意

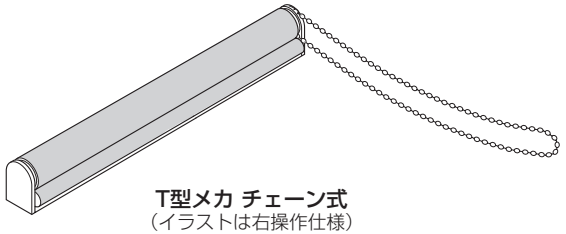
- スクリーンを外した状態でローラーパイプを矢印の方向に少し回すと、ストッパーが解除され、パイプが自動的に逆回転し、スプリングの設定（初巻き）が解除されてしまいます。スクリーンを外してから取付けるまでパイプを回さない様に注意してください。
- スプリングの設定（初巻き）が解除された場合は、P.12の「スプリングの調整方法」に従って、再調整してください。



❶P.7の「製品本体の取外し方法」に従って、製品をブラケットから外し、本体を図のように置いてください。



T型メカ プルコード式



T型メカ チェーン式
（イラストは右操作仕様）

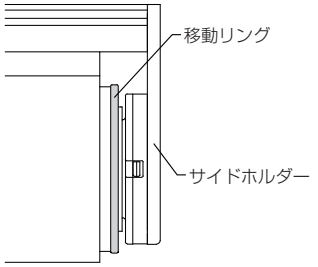
❷製品幅2010mm以上の場合は、初巻き解除防止の設定を行ってください。
製品幅2000mm以下の場合は、❸に進んでください。

〈初巻き解除防止の設定方法〉

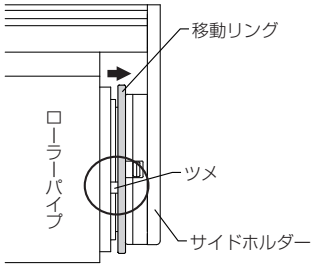
⚠ 注意

- 製品幅2010mm以上の場合、ローラーパイプに搭載されてるスプリングの影響でスクリーンの取付け/取外しが難しくなります。無理な交換操作は怪我や商品の故障につながる恐れがあります。必ず初巻き解除防止の設定を行ったうえでスクリーンの取付け/取外しを行ってください。

①ローラーパイプ側にある移動リングを手や⊖ドライバー（製品に付属されておりません）でサイドホルダー側に移動させてください。移動リングはプルコード式の場合向かって右側、チェーン式の場合チェーン側と逆側についています。

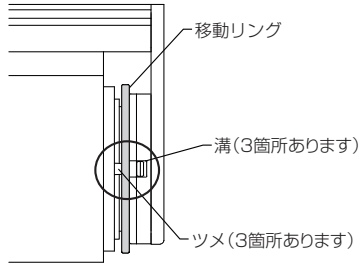


②移動リングをサイドホルダー側に寄せるとローラーパイプと移動リングの間にツメが出てきます。

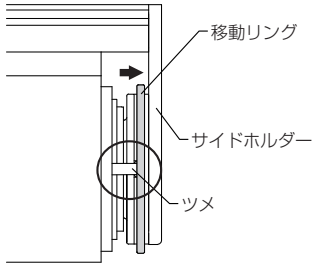


③ローラーパイプを手で回しツメをサイドホルダー側の溝位置に合わせ、移動リングを更にサイドホルダー側に移動させてください。

※ツメと溝はそれぞれ3箇所あります。合わせやすい組み合わせで行ってください。



① ツメと溝の位置を合わせます



② 移動リングをサイドホルダー側に移動させます
※ 移動リングは完全にサイドホルダー側に移動させてください。

④スプリングの初巻きがロックされた状態になりますので、P.16からの内容に従い、スクリーンの取付け/取外しを行ってください。

❸T型メカプルコード式場合は、P.8の「プルセットの取外し方法」に従ってプルセットを取外してください。

❹ローラーパイプが露出するまでスクリーンを引き出してください。

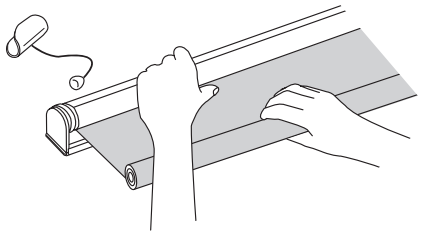
〈T型メカ プルコード式の場合〉

①スクリーンを少し引き出しストップさせてください。

②引き出したスクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。

③ローラーパイプが露出するまで①、②を繰り返し行ってください。

※製品幅2000mm以下の場合、スクリーンがストップしてない状態で手を離すとスプリングが巻き取られてしまいますのでご注意ください。



〈T型メカ チェーン式の場合〉

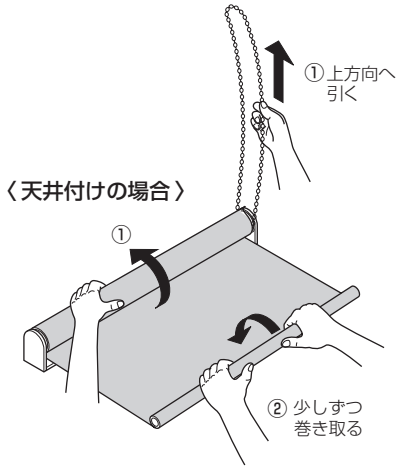
①片手でボールチェーンを引っ張り、もう一方の手でローラーパイプを回転させながらスクリーンを少しずつ引き出してください。

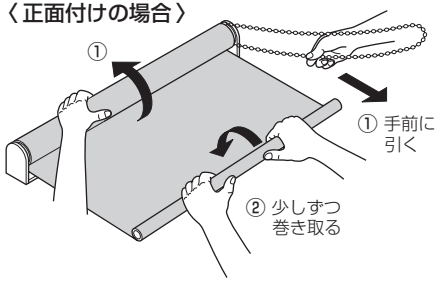
※下限コネクター（P.4をご参照ください）をご使用の場合は①を行う前に取外してください。

※スクリーンの取付け時（P.17～をご参照ください）に再び下限コネクターを取付けますので、下限コネクターを取外した位置に印をしておくと後の作業が簡単になります。

②引き出したスクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。

③ローラーパイプが露出するまで①、②を繰り返し行ってください。

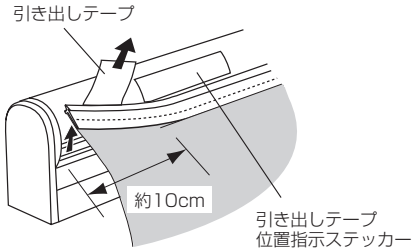




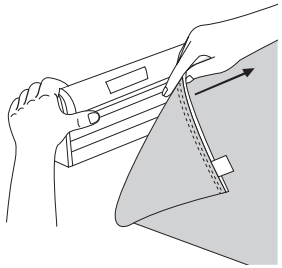
❺スクリーンをローラーパイプから取外してください。

※スクリーンが巻き戻されないようにストッパーがかかっていることを確認してください。

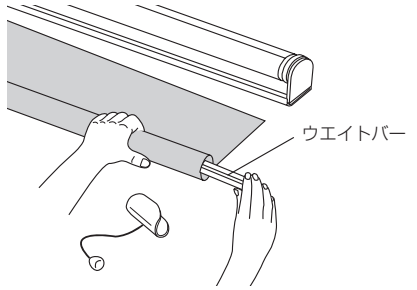
①引き出しテープを持ち上げ、スクリーンを約10cm位引き出してください。



②スクリーン上端の白い樹脂部分とローラーパイプの間に指をはさみ、そのままスライドさせてスクリーンを外してください。



❻片側のウエイトバーキャップを外し、反対側からウエイトバーを抜き取ってください。



■スクリーンの洗濯方法

※ウォッシャブルスクリーンは通常のスクリーンに比べ、シワや縮みが発生しにくい生地になっていますが、洗濯機をご使用の場合は、下記の点にご注意ください。

❶スクリーンはシワにならないように洗濯槽に入れてください。

❷洗濯前に水をたっぷり入れて、しばらく漬け置きしてください。
（10～20分程度）

❸「手洗いコース」等弱水流のコースで、水をたっぷり入れて洗ってください。
（2槽式の場合は「弱」で 3分「洗い」 ～3分「すすぎ」 ～30秒「脱水」 が目安です。）

❹洗濯後はすぐに干してください。放置しますと、シワの原因になります。
（乾燥機は使用しないでください。）

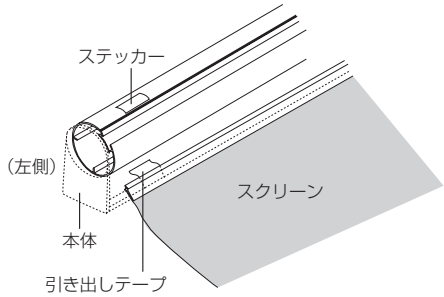
❺乾燥後、シワが目立つようであれば、シワ取り剤（アイロン仕上げ剤）を利用してあて布をし、中温度、ドライでアイロンをかけてください。アイロンは横（幅）方向にかけると、シワが伸び美しく仕上がります。

⚠ 注意

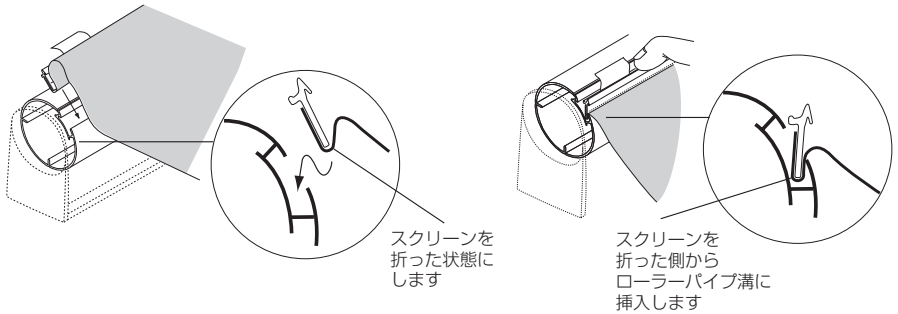
⃠ スクリーン上部の樹脂部にはアイロンを当てないでください。

■スクリーンの取付け方法

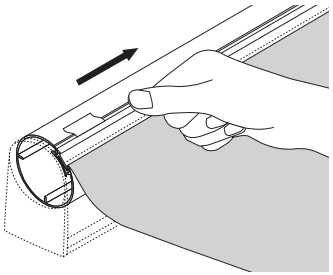
❶ステッカーの位置が左側にくるように本体を置き、引き出しテープが左側にくるようにスクリーンを本体の手前に置いてください。



❷スクリーンを図のように折った状態でスクリーン上部の白い樹脂部分をローラーパイプの溝に差し込んでください。



❸右方向へ指を軽くスライドさせながらスクリーンを取付けてください。

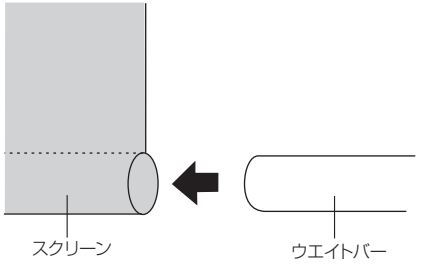


❹ウエイトバーをキャップを外した側から差し込んでください。

❺T型メカプルコード式の場合はP.8の「プルセットの取付け方法」に従って、プルセットを取付けてください。

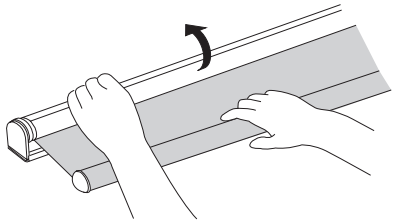
❻ウエイトバーキャップを差し込んでください。

❼スクリーンをローラーパイプに巻き取ってください。



〈T型メカ プルコード式の場合〉

●製品幅2000mm以下の場合、ローラーパイプを矢印の方向に少し回すと、ストッパーが解除され、自動的にスクリーンがローラーパイプに巻かれます。スクリーンが巻きあがる際はローラーパイプが高速で回転しますのでローラーパイプを手で持ってブレーキをかけながらスクリーンを巻き取ってください。
製品幅2010mm以上の場合、ローラーパイプを矢印の方向に少し回すとストッパーが解除されます。その上で、ローラーパイプを手で回転させスクリーンを巻き取ってください。

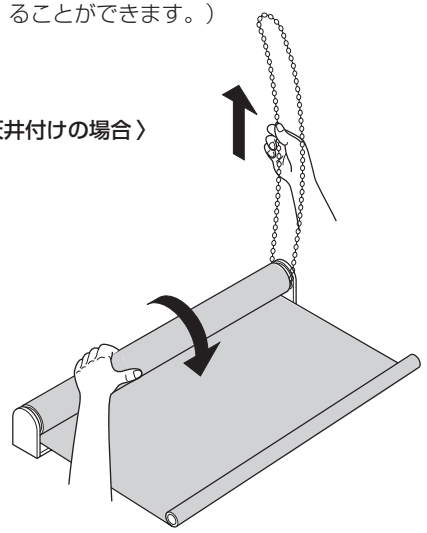


〈T型メカ チェーン式の場合〉

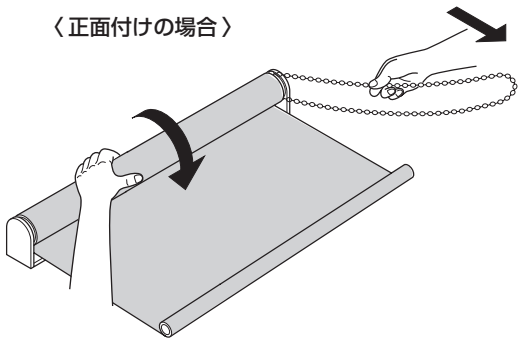
●イラストの様に片手でボールチェーンを引っ張り、もう一方の手でローラーパイプを回転させながらスクリーンを少しずつ巻き取ってください。

※ボールチェーンにスクリーン取外しの際に取外した下限コネクター（P.4をご参照ください）を取付けてください。
（下限コネクターはスクリーンの逆巻きを防止するための部品です。取付け位置は自由に調整することができます。）

〈天井付けの場合〉



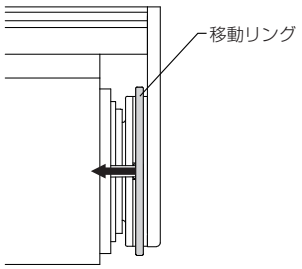
〈正面付けの場合〉

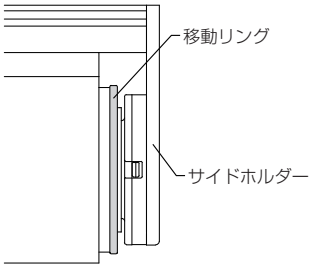


❽製品幅2010mm以上の場合は、初巻き解除防止の設定を解除してください。製品幅2000mm以下の場合は、❾に進んでください。

〈初巻き解除防止の設定解除方法〉

●スクリーンの取付けが終わりましたら移動リングをパイプ側に移動させもとの状態に戻し、初巻きのロックを解除してください。



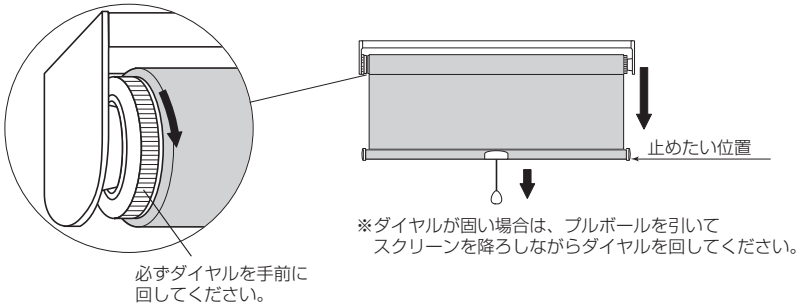


❾P.6の「製品本体の取付け方法」に従って、製品をブラケットに取付けてください。

ストップコントローラー（オプション）の調整方法/T型メカ プルコード式のみ

●ストップコントローラー付ロールスクリーンは、予め決めたお好みの高さで上昇を止める事ができます。連窓など同じ位置に揃えて止めたい時などにお使いください。

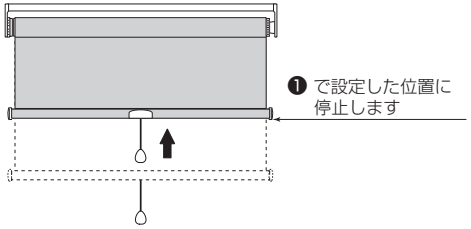
❶本体左側のサイドホルダーに付いているダイヤルを手前に回し、停止させたい位置までスクリーンを降ろします。（出荷時にはスクリーンが全部巻き上がった状態になっています。）



※ダイヤルが固い場合は、プルボールを引いて
スクリーンを降ろしながらダイヤルを回してください。

❷プルボールを引いてスクリーンを上昇させ、停止位置を確認してください。

※停止位置を変えたい時も、同じ操作を行ってください。高さ0～3mの範囲でお好きな位置に止められます。



⚠ 注意

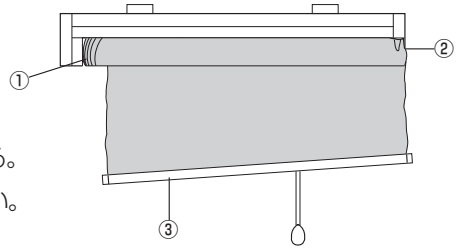
❗停止位置を上げたいときは、必ず奥にダイヤルを回して操作してください。ローラーパイプを手で持って無理に回すと故障の原因になります。

スクリーン巻きずれ対処方法

●スクリーンが巻きずれていると、スクリーンを昇降できなくなったり、スクリーンが破損（しわ、やぶれ等）する恐れがあります。出荷時に、調整をしてありますが、取付け場所の関係等により、巻きずれが発生した場合は、以下の手順で巻きずれを補正してください。

〈スクリーンが巻きずれた状態とは？〉

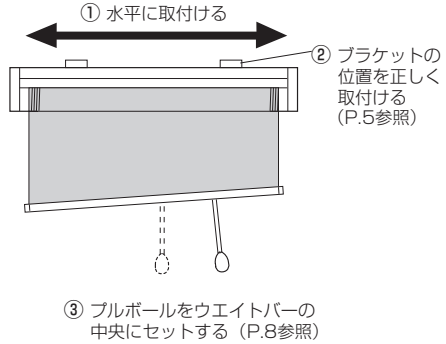
①スクリーンが「竹の子」状になる。
②スクリーンがサイドホルダーセットに当たる。
③ウエイトバーが左右均等（水平）にならない。



■巻きずれの補正方法

❶まず製品が正しい状態になっているか確認します。
①製品が水平に取付けられているか？
②ブラケットが正しい位置に付いているか？
③プルボールがウエイトバーの中央にセットされているか？

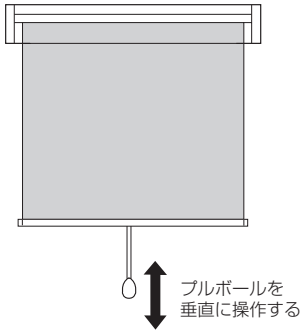
※正しくない場合は、正しい状態に直してください。



❷プルボールを垂直に引いて、スクリーンを下まで引き出して止め、さらに3～4cm下に引き手を離してスクリーンを巻き上げてください。

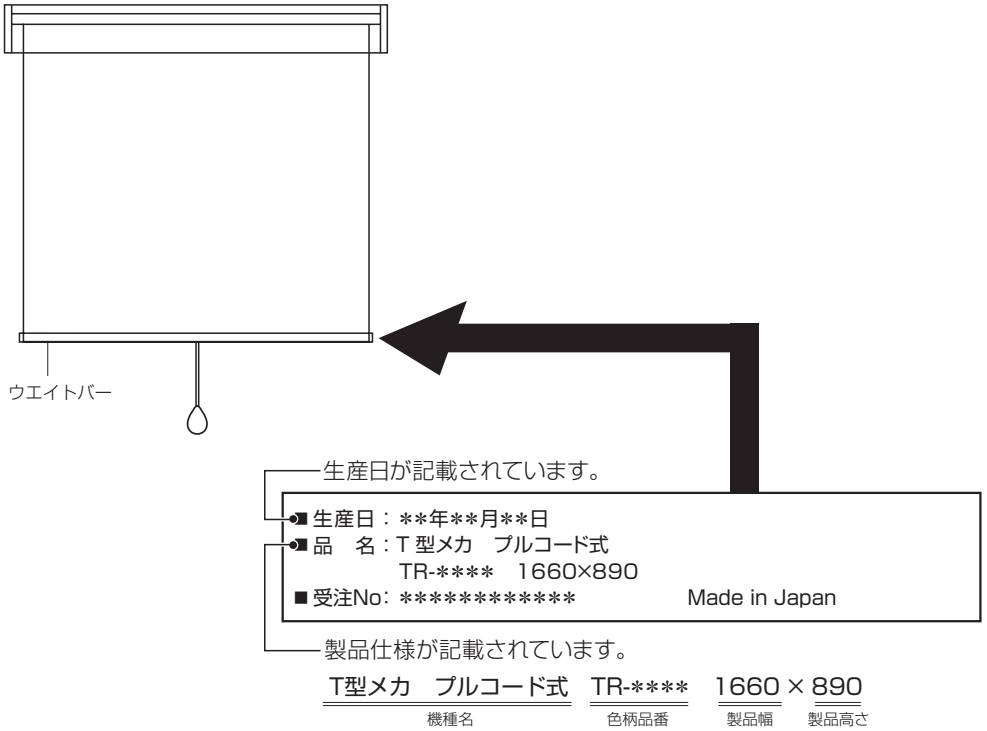
❸❷の昇降操作を2～3回くり返してください。それでも巻きずれが直らない場合は、付属の巻きずれ調整シールを使って巻きずれを直してください。

※巻きずれ調整シールの使用方法は、調整シールの裏面をご覧ください。



メンテナンスシール

●お買い上げの製品には、ウエイトバー右裏側に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。

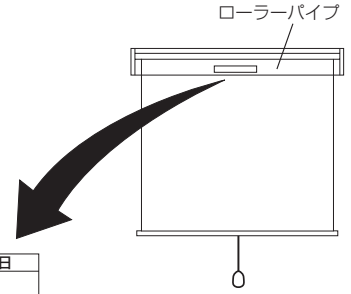


交換スクリーンの発注方法

●交換スクリーン(別売)でスクリーンを交換することができます。下記の手順でご発注ください。

❶スクリーンを下まで引き出すとローラーパイプの中央に、製品サイズ、スクリーン品番等が記されたシールが貼ってあります。

❷機種名、色柄品番、製品サイズ(製品幅 × 製品高さ)をお申しつけください。



(シール)

製品サイズ		スクリーン品番	使用バネ	製造月日
幅 ㎜	高さ ㎜		Y A B C D E F	

“故障かな”と思ったら

■こんなとき

現　象	原　因	処　置
●スクリーンが巻き上がらない。又は、スピードが極端に遅く、途中で止まってしまう。	スプリングの設定（初巻き）が解除されているか、極端に弱くなっていると思われます。	●P.12『スプリングの調整方法』をご覧ください。
●スクリーンが下がりきった状態から巻き上がらない。	引き切り（オーバーラン）状態にあると思われます。	●P.11『操作方法』をご覧ください。
●スクリーンが巻き上がる際にサイドホルダーセットにあたってしまう。（巻きずれてしまう。）	製品が水平に取付いていない。 ブラケットが正しい位置に付いていない。 プルボールがウエイトバーの中央にセットされていない。	●P.21『スクリーン巻きずれ対処方法』をご覧ください。

お手入れ方法

●日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。

●水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。

●スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残りもとに戻らない場合がありますので十分注意してください。

梱包材の処理方法

●梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。

●各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。